



図書館 夏休みのイベント

	ゆいの森あらかわ ☎(3891)4349	南千住図書館 ☎(3807)9221	尾久図書館 ☎(3800)5821	町屋図書館 ☎(3892)9821	日暮里図書館 ☎(3803)1645
イベント名	「まるで本物!? 回転ずしをつくってみよう!」	夏休み親子工作会 「絵本カバーで エコバッグをつくろう!」	夏休み工作会 「おさかなわなげで あそぼう」	夏の工作会 「海の生きもの しんしゅはっけん!!」	夏の工作会 「ふうりんをつくろう!」
日時	8月17日(水) 午後1時30分~4時	8月24日(水) 午後3時~4時	7月30日(土) ①午前10時~10時30分 ②午前11時~11時30分	8月10日(水) ①午後3時15分~3時35分 ②午後3時45分~4時5分	8月3日(水) 午後3時30分~3時50分
会場	2階学びらウンジ	地下1階視聴覚室	1階みんなのひろば	2階おはなしのへや	地下1階おはなしのへや
対象	区内在住・在学の 小学4年生~6年生	区内在住で、 4歳~小学生の お子さんと保護者	4歳~小学生 (未就学児は 保護者同伴)	3歳~小学生 (未就学児は 保護者同伴)	小学生
人数(申込順)	15人	20組	各8組	各4組	10人
申込み	7月22日(金)から来館で1階 総合カウンター、またはゆいの 森あらかわホームページ	7月21日(木)から来館で 2階カウンター、または電話	7月21日(木)から来館で 1階カウンター、または電話	7月22日(金)から来館で 2階カウンター、または電話	7月22日(金)から来館で1階 総合カウンター、または電話

「家族と一緒に!」 読書ビンゴ

〜君は何冊読めるかな

期間 7月21日(木)~8月31日(水)
※7月21日(木)が休館の施設は7月22日(金)から
※景品の引き換えは9月11日(日)まで

対象 小学生以下の方

問合せ ゆいの森あらかわ
☎(3891)4349

▶**内容** ビンゴカードに書かれたテーマの本を読み、ビンゴを完成させる
※ビンゴを完成させた方には景品を差し上げます(なくなり次第終了)

▶**ビンゴカードの配布** ゆいの森あらかわ、各図書館・図書サービス
テーション

夏休み子ども博物館

7月21日(木)午前8時30分から受付開始

申込み 電話で、荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

会場 荒川ふるさと文化館地下1階視聴覚室

勾玉作りにチャレンジ

縄文時代の暮らしを勾玉作りから体験しよう!

▶**日時** 8月7日(日)①午前9時~11時30分②午後1時~3時30分
▶**対象** 区内在住・在学の小学3年生~中学生 ※保護者の方も参加できます
▶**人数** 各16人(申込順) ▶**費用** 500円(材料費)

あらかわ職人道場

職人さんに弟子入りし、伝統工芸の技を体験しよう!

①**銅のしおりを作ろう(鍛金)**
▶**日時** 8月21日(日)①午前11時~正午
②午後1時30分~2時30分 ▶**対象** 区内在住・在学の小・中学生 ▶**人数** 各3人(申込順)
▶**費用** 1000円(材料費)

リトル学芸員

学芸員になって、博物館のお仕事を体験しよう!

▶**日時** 8月3日(水)①午前10時~11時30分
②午後1時~2時30分
▶**対象** 区内在住・在学の小・中学生
▶**人数** 各8人(申込順) ▶**費用** 無料

俳句を作ろう

オリジナルの俳句を作り、俳句に合わせた絵を描こう!

▶**日時** 8月18日(木)午前9時30分~正午
▶**対象** 区内在住・在学の小・中学生
▶**人数** 15人(申込順) ▶**費用** 無料

衣裳着人形の生地

カードケースを作ろう(衣裳着人形)

▶**日時** 8月23日(火)①午前10時~10時40分②午前11時~11時40分
▶**対象** 区内在住・在学の小・中学生 ▶**人数** 各4人(申込順)
▶**費用** 500円(材料費)

Topics

ふらっとにっぽり 大階段アート「ようこそ、ものづくりの世界へ」が公開されました

6月1日、ふらっとにっぽりで、大階段を装飾した「階段アート」が公開されました。

階段アートには、ミシンや、東京日暮里繊維卸協同組合のオリジナルキャラクター「にっぽりん」などが描かれています。

指定された場所で写真を撮ると、ミシンに登ったり、「にっぽりん」と手をつないだりすることができ、ものづくりの世界を楽しむことができます。

7月15日(金)からは、階段アートの写真をSNSに投稿するとオリジナルグッズがもらえたり、クイズに正解すると記念写真を撮影してもらえたりするキャンペーンを実施します。

ぜひ、保護者の方と遊びに行ってみましょう。

▲「にっぽりん」と一緒に、パシャリ!

あらかわ 今昔ものがたり

第138 あらかわの芸術村!!

~日暮里と芸術家たち~

みんなは写生会に参加したことがあるかな? 授業で外にお出かけして、色鉛筆やクレヨンで街の景色や建物を描いたことがあるよね。

写生を大事にした柏亭先生 あらかわの街は昔から画家が集まる場所だったんだ。今から100年以上前、風景画を描くことをとても大切にしていた先生が道灌山(西日暮里4丁目)にアトリエを建てて住んでいた。先生というのは明治から昭和にかけて活躍した画家の石井柏亭さんのこと。

柏亭先生は道灌山に引っ越して間もなく、山の上から眺めた風景を描いた絵を、「二科展」という美術展に発表した。若いころから写生が好きで、三河島の用水堀のほとりやハンノキ山(今の第五中学校)の辺りを歩いて作品を残しているんだ。荒川ふるさと文化館も中学生のころの作品「三河島地蔵堀」を所蔵しているよ。

日本の水彩画の発達に努力しただけでなく、教育者としても知られ、渡辺町の幼稚園の園長先生にもなったんだ。

野執筆さん

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

芸術家のサロン柏亭邸 柏亭先生は、二科会や一水会という美術団体を立ち上げるときに大活躍したんだ。柏亭先生のアトリエには会の事務所が置かれ、芸術雑誌の『方寸』を発行したりしていたので、多くの芸術家が集まったんだって。

道灌山と渡辺町 柏亭先生は道灌山からの景色が美しいから、引っ越してきたのかな。実はね、大正5年(1916)に道灌山で行われたまちづくりが関係しているんだよ。二十七銀行頭取の渡辺治右衛門さんの会社が、水道・電気・ガスばかりでなく公園も備えた近代的な住宅街を整備した。そして道灌山に文化村・芸術村をイメージした「日暮里渡辺町」が誕生したんだよ。

柏亭先生をはじめ、作家の野上弥生子、久保田万太郎、日本画家の長野草風たちが引っ越してきて、文字どおりの芸術村になったんだ。諏訪台(西日暮里3丁目)にも芸術団体の太平洋画会(今の太平洋美術会)があり、彫刻家の中原悌二郎、洋画家の中村不折、中村彝など、多くの芸術家が住んでいた。あらかわは昔から芸術の香りに満ちた街だったんだね。

渡辺町住宅街 ▶ 『日暮里町政治革命史』(荒川ふるさと文化館蔵)